

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
化学実習	1年次	必修	実習	1単位（45時間）	小杉日登美
授 業 概 要					
<p>化学実験を通して講義で学んだことを確認し、基本的な実験手技を習得する。化学の知識をより深く理解し、専門領域における実験実習への基礎を身につける。具体的には各種測定用器具の使い方、実験に使用する試薬の基本知識、およびレポート作成方法を習得することを目標とする。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実験器具・機器を正しく取り扱うことができる。</li> <li>・ 試薬の性質を理解する。</li> <li>・ 実験の原理について理解し、説明できる。</li> <li>・ 実験結果を整理し、レポートを作成することができる。</li> </ul>					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容			担当教員	
1・2	講義：オリエンテーション	実習の心構え、レポートの書き方		小杉日登美	
3・4	講義	濃度計算、有効数字などの理解			
5・6	基礎実験	器具の名称、使用方法			
7・8	実験①	炎色反応			
9・10	実験②	タンパク質の定性反応			
11・12	実験③	タンパク質の定量法			
13・14	実験④	カタラーゼのはたらき			
15・16	実験⑤	水の硬度測定			
17・18	実験⑥	中和滴定			
19・20	実験⑦	酸化還元反応			
21・22	実験⑧	糖の定性反応			
23・24	実習試験	実技・筆記試験			
学 習 方 法					
<p>実験に積極的に取り組み、器具等の取り扱いや操作方法を自ら学ぶこと。</p>					
評 価 方 法					
<p>受講態度および実習レポート70%、実習試験(筆記)30%とし、総合的に評価する。</p>					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
<p>レジュメ配付</p>					
備 考					
<p>1年次後期以降に開講される実験実習を行うために不可欠な基礎実習である。したがって、化学が苦手な学生も積極的に取り組み、実験内容を正しく理解すること。</p>					